

ツナガル! ヒロガル! 〈ろうきん〉運動の輪

このコーナーでは毎回、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

今回の運営委員会

浜北支店

運営委員会…会員(組合)の代表者と(ろうきん)の営業店長などで構成される組織。会員の構成員(組合員)の声が反映された(ろうきん)の商品やサービスづくり、組合員の生活の維持・向上に(ろうきん)を役立てる施策を企画・展開している。

●運営委員長
近藤 巖さん
(ヤマハ労働組合
豊岡支部)



お話をうかがった運営委員さん

●副運営委員長
松野 信昭さん
(ヤマハ発動機
労働組合
浜北支部)



●副運営委員長
明石 哲文さん
(全矢崎労働組合天竜支部)



第3回

浜北支店運営委員会の 新たな取組

プロジェクトVI

! 部会制から プロジェクトへ



昨年度までは、運営委員会の中にローンや預金の専門部会を設置し、各部会が主体になって、それぞれ、担当分野の取組方針を決めていました。これはこれで機能していたのですが、長年続いたが故のマンネリ化、部会に分かれて方針を討議するため、決まった方針を全運営委員が組織で具体化して取り組めなかった等の課題を抱えていました。そこで、2009年度は、メリハリのついた活動の実現、全運営委員が取り組むことを目標に、運営委員会活動の改革を行いました。それがプロジェクトVIです。



プロジェクトでは、1年を3つに分け、4ヶ月間で2つの課題に取り組めます。この課題の設定と、活動の叩き台を、先に二役会議で検討しておきます。また課題について、今度は、2つのグループに分けた運営委員会で、具体的な取組方法を検討します。ただし、取組方法は一つに絞らず、多くのメニューを提供します。同じ課題に取り組むのなら、その方法はいろいろあっていいんです。この後、運営委員会全体で課題を共有化し、各運営委員は、自組織にあった取組方法を選んで、活動を始めていきます。

プロジェクトVIのイメージ

4ヶ月を1サイクルとして、年間で6つの課題にPCDA手法で取組む

二役会議	4月	8月	12月	3月
2009年度	家計見直し 新入組合員対策	マイプラン 「役立宣言」教育ローン	家計見直し第2弾 継続取引・資産形成	

! プロジェクトの効果



プロジェクトが始まってから、運営委員会が変わりました。4ヶ月間は、みんなが同じ課題に取り組んでいるため、当然、運営委員会ではその報告がされます。それぞれの取組方法や、進捗、効果が以前よりも「見える」状態になっていますので、すぐ参考になっています。

例えば、今回、ヤマハ労働組合豊岡支部さんが採用したマイプランの取組方法では、契約が増えたという結果も報告されていて、私の組織でも、その方法を試してみようと考えているところです。



活動が「見える」というだけでなく、4ヶ月という限られた期間で決めた課題に取り組むため、運営委員会にメリハリがつかれました。各運営委員の報告も、この課題に集中しているため、準備ができて、運営委員会の進め方が効率的になり、会議の時間が短くなりました。また、取組方法を一つに制限しなかったことで、運営委員全員がプロジェクトに参加できていたことが、以前と変わった点です。



ヤマハ労働組合 豊岡支部の マイプラン取組

今や、ほとんどの人が複数枚のクレジットカードカードを持っています。このカードで、分割やリボ払いをすると、高い金利を払うことになりそうです。この点に着目して、「複数枚持つなら、その中に「マイプラン」も」という提案を、入社1~2年目の組合員を対象に、クレジットの啓発セミナーを通して行いました。この取組で、組合員の共感が得られ、マイプランの契約件数が伸びたんです。

! 組織への伝達という課題



私は、今期運営委員になったばかりですが、組織では執行委員を数年務めていました。前任者の活動をなんとなく見ていたのですが、運営委員になって初めて、あの活動の意図はこういうことだったのかと、理解を始めています。



運営委員がいない会員や、委員が会員の代表者でない場合など、運営委員会の思いや活動が組織全体へ伝わりにくいという課題があります。これについて、今年度から2回目の会員代表者会議に加え、会員代表者と、運営委員会二役による意見交換会を行うことにしました。上期に第1回を行ったのですが、取組の成果が出ていないとか、もっと組織に入り込んでいく必要があるなど、率直な意見をいただき、会員代表者の方が、真剣に運営委員会の活動を見ることがわかりました。

下期に第2回を予定しています。より多くの会員の代表者に参加いただき、運営委員会として、その期待に応えていきたいです。

今年度から始まった「運営委員会活動の改革」プロジェクトVIの進め方を含め、まだまだ課題は多いと近藤運営委員長はお話します。しかし、課題に取り組み、それを解決していくという姿勢が、お話をうかがったみなさんから伝わってきました。課題の設定、取組評価、改善というPDCAのサイクルは、順調に動きはじめています。

このコーナーでは、運営委員会の活動を紹介します。「取材に来て欲しい」「ミーツに載りたい」という運営委員会へ、ぜひミーツ編集室へご連絡ください。

